

しりべしツーリズムサポートニュース



Vol.79

平成26年7月

第1回「しりべし塾」が開催されました。

新幹線開業を見据えた誘客促進の地域連携を考える機会として、6/20(金)後志総合振興局講堂にて宝島旅行社社長、鈴木宏一郎氏によって「これからの広域観光連携のあり方について」と題し、九州・阿蘇地域の取り組み、北海道新幹線開業を見据えて既に動き出している道南の地域連携事例などを講義頂きました。旅行社だけに販売プログラムや動向を的確に把握してのお話は大変興味深いものでした。参加された方々にはうちの町なら・・・と具体的思考に繋がったでしょうし、参加出来なかった方々にも内容を一部でもお伝えしたいと思います。北海道宝島旅行社は「北海道体験.com」を運営、扱っている体験型観光にしても「乗馬クラブで雪中乗馬」「手ぶらでワカサギ釣り」「豪華BBQ付き手ぶらキャンプ」などひと工夫、一捻りされた面白いものばかり。実施も参加数に合わせてタクシーからバスまで幅広く利用しているそうです。



最近の動向として外国からの富裕層は1人6~10万円/日(渡航費も入れて)の消費だそうで、「どこまでお金持ちなんだよ~どうしたらそういう勝ち組になれるんだよ~」と羨ましさを超えて妬みすら沸く話満載(笑)。東京・澤の屋旅館では古い町並み残る谷中という地域資源に恵まれ、伝統的な下町文化や人々に触れることが出来ると人気、有名な宿であるが、「急須にお茶」という日本の生活様式への拘りを実施することで日本体験、地域体験の感動すら与

え滞在交流時間の延長やリピーター、口伝へと繋がっているそうです。地域の住人1人当たりの年間消費額が124万円と概算され、住民が1人減となった折の損失額は日帰り旅行者79名の消費額16,000円/日(宿泊なら24人、52,000円/日)に相当する。ならば日帰り旅行者79人来る策を考えよう!目標としよう!というもの。(1,240,000÷16,000=79)(この理論には目からウロコでしたよ~)

ミシュランの星の意味にしても 1つ~なら「美味しい店」という意味、 2つ~なら「行ったら寄れば!」の意味。 **3つ~なら『そのレストランに旅行する価値あり!』(目的となる)**

まずは30分の滞在目的(確かに食事所要時間だわ) その地へ3時間過ごす(他に寄ればの場所あれば) 1泊と繋げる(こうなると地域交流、地域人交流日本人の得意とするお・も・て・な・し発揮!)
そこで地域物語を作り上げたのが**阿蘇!**

歴史もあり、建築方法も珍しい阿蘇神社には年間50万人も来るといのに地域、商店街に人が流れない。地域人の収集物(アンティーク時計)を立寄り拝見OKとした、馬肉コロッケ作って「バロッケ」

とネーミングしちゃおう。B級グルメにしちゃおう。珍しい水おみくじを紹介しよう。と地域キーマンの3人が動き出した。阿蘇神社付近の商店街で3時間楽しめるメニューが提示され、商店街には年間30万人が町歩きするようになったそうです。そうなるとコロコロ動き出す！うちのエリアにはカゴで里芋洗いの風景があるぞ！面白い話をするおばちゃんがいる。人、物の地域資源に気が付きだす。それらを「パビリオン」と称し、エリアマップに落とし込めば点在する「集落」のように見えてくる。ここのパビリオンに行きたいけど、こちら魅力的～！泊まって回るか、行くか～となっていくでしょうし、宿にも「何か」地域物語のようなものを期待しちゃいますよね。(あ～だから観光を考えるのは面白い！エキサイトする～(笑))

そんな阿蘇の事例を聞いて道南が動き出したそうです。まだまだ助走だよ～開業する頃に完成してれば良いんだよ～と“時”の余裕を持って取組んでいるのだから凄い。阿蘇を真似たパビリオン構想から生まれた『江差松前・千年北海道手形』として奥尻を含む道南が繋がっちゃった！

後志だってiネットの繋がりが有るんじゃない！

寿都で道の駅には大勢立ち寄ってくれるけど、町中に人が流れない・・・から、「すつつまち歩きマップ」が考案されました。

- (1) 道の駅でマップを貰う
- (2) お土産店3軒の合言葉と飲食店1軒で食べたメニューを記入
- (3) 道の駅に戻りガラポン抽選でプレゼントを貰う(未賞でも生炊しらす)

寿都ではファンクラブイベントというのもあって泊まって過ごしたからでこそ！の海幸豪華BBQ、どんじゃのりのおにぎり朝食など阿蘇をイメージさせることもしています。

でも鈴木社長曰く

「真似ても土地も人も違うから同じものは出来ない！集落も違えば人種も違う～」

後志へのヒントとして

「後志の大きな面を考えず、地域の面としてだして、繋げると良いんじゃない～」

これなら出来る！って思いませんか？

『後志セレクション』認定したい物がいっぱいの後志



『ガイヤポン！』(自然をテーマとしたカードゲーム) 後志の森、川、海にすむ生物の生き死に、食物連鎖を通して命と循環「自然のめぐり」をカードゲームにして表現しています。シンプルだけど可愛いタッチの絵はおたる水族館の獣医さんが描いたものです。

低年齢のお子さんとは神経衰弱の要領でカードゲームとして使え、高学年のお子様とは自然環境も激変を表したカードを入れて「自然のめぐり」を考え、学ぶ優れものです。教育現場や学習現場で是非使って欲しいですね。

販売価格 1,500円(税込)

編集後記

“食の逸品”後志セレクションが後志収穫祭の原点でした。今や沢山の美味しいものも増え、次は“もの”かなと。黒松内の「まゆだま洗顔」「child chair組立キッド」など後志のいいね！とビビッとくるものも沢山ありそうです(i)